



ロータリー：
変化をもたらす

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

- 会長 / 加藤 文昭
- 副会長 / 井尻 英雅
- 幹事 / 柳瀬 英雄
- 副幹事 / 上條 康則

例会日: 毎週月曜日 18:00~19:00

例会場: 静岡グランドホテル中島屋

事務所: 静岡市葵区追手町2-12 5F / TEL 054-254-5611

2017-2018年度RI会長 イアン・ライズリー 「ロータリー:変化をもたらす」

平成30年4月9日(月)

No.1299
第1371回 例会

ホームページ
アクセス数

2018.4.11
30945

ゲ
ス
ト

静岡信用金庫

卓話者 石川 直紀 様

♪ 本日のロータリーソング「我等の生業」 ● ソングリーダー: 安藤 寿弥 会員

加藤 文昭 会長の時間



先回の観桜会、小林常任と平沼委員長並びに親睦委員会の皆さん楽しい会をありがとうございました。

さて、新茶のシーズンになりました。今、緑茶が海外で人気が出てきて輸出が好調で毎年輸出量が増えていると聞きました。私の会社では緑茶でなくウーロン茶を扱っています。何回か中国にお茶の勉強に行き茶芸師という資格をとり中国で茶館を開くことができるようになりました。お茶の木には、緑茶に合った木、ウーロン茶に合った木、紅茶に合った木と木にも種類がありますが、どの木の葉も基本的には緑茶もできウーロン茶もでき紅茶もできます。中国茶の種類は、基本的に緑茶、白茶、黄茶、青茶、紅茶、黒茶、花茶の7種類があります。それぞれの違いは、自然発酵の度合いの違いです。黒茶は微生物による強制発酵でプーアール茶が代表で花茶は花の香りをお茶に付けたもので有名なものはジャスミン茶です。青茶がウーロン茶のことで、半発酵したものです。紅茶は完全発酵で、昔イギリス人がお茶をたくさん仕入れて国に帰ったら、完全発酵して紅茶ができヨーロッパでは主流になったといわれています。中国人の多くの人々はウーロン茶を飲んでいると思っていますが、大半は緑茶です。日本と違って茶葉を炒って作っており、日本は、蒸して作ります。以前、中国に行った時に丁度新茶の時期で、高価な新茶を持っていき、中国人に飲んでもらいましたが、なんと一言「生臭い旨くない」といったので、この野郎と思いましたが、文化の違いと言いましょか、中国人にとってお茶は、まず香りからたしなむのです。美味しい香りのよいウーロン茶の木は、お茶にとって環境の悪いところで育ったものが多いのです。例えば高い山で育ったものがあります。お茶の木は暖かいところの植物なのが、寒いところでわざとストレスを与えると旨味が増える。台湾のウーロン茶は高山でとれるものが多く香りのよい美味しいウーロン茶が取れます。また、土にもあまり栄養のないもので育った木も美味しいウーロン茶ができます。中国で最高のウーロン茶は、福建省の武夷山の岩肌にできている木からとれた大紅袍というものです。人間も同じで長い間、苦勞をしてストレスを克服してきた人間は、渋みと苦みと旨味のある魅力的な人間に育ちます。まあ、そんなことを考えながらウーロン茶を飲んでいきます。本日もよろしくお願いたします。

■ 幹事報告 柳瀬 英雄 幹事

- ・4/14 地区研修会、協議会(山梨にて:静岡駅前6時50分集合)
- ・4/16 休例会
- ・4/23 新クラブ協議会
- 4月の誕生日 海老名会員、海野会員、山梨会員、城塚会員、森川会員
- 4月の結婚記念日 鈴木会員、朝来野会員、吉川会員



■ スマイル報告 依田 邦彦 会員

■ 会員からのスマイル 総額 / 12,000円

- 平沼会員・親睦委員会メンバー 先日の観桜会には、多くメンバーに御出席頂き、ありがとうございました。
- 加藤会員 ... 本日の講師、石川様よろしくお願いたします。
- 前田会員 ... 本日の卓話者、静岡信用金庫 経営相談部調査役の石川直紀様をお迎えして、今回はお世話になりました。
- 岡本会員 ... 遠州横須賀の三熊野神社大祭に行ってきました。葉桜でしたが、お囃子の響きは最高でした。
- 森川会員 ... 先日の観桜会にて、優しい加藤会長のおかげで2万円GETしました。
- 相川会員 ... 6月に男の子が生まれる予定です。良い名前がありましたらお声かけ下さい。

静岡中央ロータリークラブ週報

クラブ会報委員会 / 稲垣 信一郎 是永 俊晴 海老名 英彰

ホームページ <http://shizuoka-chuo-rc.jp/> メールアドレス 6rc-godo@mail.wbs.ne.jp

～ M&Aの現状について ～



私がM&A業務に携わるようになったきっかけは、3年ほど前からM&Aに関する相談が増えてきたということでした。信用金庫なので、ノウハウが全くなく、始めは、お客様から「事業承継する相手がいない」とか、「M&Aで会社を買い、事業を拡大したい」などのご相談を聞くだけの状態がしばらく続き、これではまずいだろうということで、日本M&Aセンターという会社に出向させていただき、現在の経営相談部に配属となりました。

M&Aと聞くと言葉がきつくて、「敵対的買収」など、あまり良いイメージを持たれていない方が多いのではないかと思います。今一般的に行われているM&Aは、未上場の株式を売買するということですので、友好的なM&Aになります。件数は統計ととっていないので定かではないのですが、大体年率で2割くらい増えていると言われていています。

休廃業・解散、倒産件数を表したグラフです。倒産件数は、2,000年代初頭で2万件弱でしたが減ってきて、2016年では8,000件くらいで推移しています。休廃業・解散件数につきましては、2,000年代初頭は倒産件数と同じくらいだったのですが、だんだん増えていき、2016年では3万件弱ということで、倒産件数と比べて3倍近く多い状況です。事業を続けられるのに、後継者がいないなどの理由で事業をやめてしまっているということが現状です。

休廃業が多いことで、「雇用が守られない」「特殊技術等の継承ができない」などがあり、地域経済にとってマイナスの影響が出るという問題があります。GDPで20何兆円という試算もあり、国としても非常に問題となっています。それに対応して、中小企業庁が平成28年12月に「事業承継ガイドライン」を制定しました。

当金庫においても事業承継に対する取り組みを非常に強化しております。昨年500件ほどアンケートを実施し、3割程度のお客様より、事業承継についての相談をしたいという結果が出ています。

どのような事業承継が増えているのかと言いますと、「親族外承継」が非常に増えています。M&Aの実行で譲渡企業には、「創業者利益の確保」「従業員雇用の継続」「企業文化・技術の継承」などのメリットがあり、譲り受け企業には、「成長戦略」「多角化経営」などのメリットがあります。

また、M&Aにはトレンドがあります。ドラッグストア、コンビニ、家電量販店などは、すでに大手による寡占化が進んでいる業界になります。調剤薬局などは、非常に盛んな業界です。運送業や、ビルメンテナンスなどもよく買われます。今後は、医療・介護の業界が進んでいくのではないかと思います。

- ①事業承継は早めの対応を ②M&Aは身近なものになりつつある ③ぜひ「静岡」でお願いします

委員会報告

今回はありませんでした。

確定出席報告(前々回出席報告)

月/日	確定出席率	出席計算 会員数	出席者合計(含メイクアップ)
3/19	80.8%	47名	38名(メイクアップ名を含む)
3/26	78.7%	47名	37名(メイクアップ名を含む)

- ・総会員数50名(出席義務会員40名+出席免除会員10名)
 - ・出席者合計には出席免除会員、メイクアップ会員を含む
- ～出席率向上へのご協力をお願いします～